

# 事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	事業名	部名	市民文化部(文化振興局)
	19054-1	歴史街道遺産活用事業	室名	まちなみ文化財室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	04:歴史文化の継承	務	款 教育費
	施策の方向	01:東海道歴史文化回廊の創造	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 文化財保護費	

② 目的・概要	対象	市民・文化財所有者
	目的	「東海道歴史文化回廊保存・整備基本計画」に基づき、地域文化財の周知を図り、広く市民活動を行える環境を整備する。

				24年度	25年度	26年度	
③ 指標	活動	①	名称	設置した説明板等の数	計画値		
			実績値	2	2	4	
			単位	件	件	件	
	②	名称		計画値			
		実績値					
		単位					
成果	①	名称	市民活動による説明板等の設置箇所	計画値			
		実績値	1	0	0		
		単位	件	件	件		

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績					・文化財説明看板等4箇所設置 「関の山車(木崎)」「関の山車(大裏町)」「関の山車(中町三番町)」「関の山車(中町四番町)」 ・既存散策パンフレットを増刷			
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	740	平均給与額×③
		事業費		1,045	881	一般職員人件費 ②	740	
		国庫支出金		5	5	所要人員 ③	0.10	
		県支出金				臨時職員人件費 ④		
		地方債				受益者負担額 ⑤		
		その他				受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		一般財源		1,040	876			
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
	総人件費		①	740				
	総コスト		⑥	1,621				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の文化財の見学者等の利便を図るため、「東海道歴史文化回廊保存・整備基本計画」及び「亀山市歴史的風致維持向上計画」に基づき、文化財説明看板を4箇所設置するために国交付金を利用した。</li> <li>国交付金額が、予算要求額よりも大幅に減額となったため、作成予定だった文化財説明看板を次年度に変更した。</li> <li>散策パンフレットの配布を増刷し、見学者等の要望に答えた。</li> </ul>	<b>A</b> 順調に進んだ
	【反省点・課題】	説明板等の必要箇所や、住民からの要望箇所が多く、市民や見学者等の要望に対応しきれていない。
	【改善の方向性】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に説明板等の設置を進めるため、国・県補助事業などを積極的に活用する。</li> <li>住民との協働等による説明板設置やパンフレット作成を進める。</li> </ul>	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切
最終評価確認者: まちなみ文化財室長 嶋村 明彦		